

第11表

インバランス収支計算書

2018年4月 1日から
2019年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	76,344	営業収益	71,037
地帯間購入電源費	11,813	地帯間販売電源料	12,506
他社購入電源費	14,303	他社販売電源料	3,969
(インバランス対応取引費用)	2	(インバランス対応取引収益)	0
(インバランスの買取りに係る費用)	10,332	託送収益	10,211
社内取引費用	50,226	接続供給託送収益	10,211
(インバランス対応相当額取引費用)	12,988	(インバランスの供給に係る収益)	10,211
(インバランスの買取相当額取引費用)	37,238	(インバランスリスク料に係る収益)	20
		社内取引収益	44,349
		(インバランス対応相当額取引収益)	11,979
		(インバランスの供給相当額取引収益)	32,370
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	185
営業利益(又は営業損失)	△ 5,306		

- (注) 1 インバランスの供給に係る電力量は4,324百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は5,134百万kWhである。
- 2 財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は財務諸表及びインバランス収支計算書を含む送配電部門収支計算書等には計上していない。なお、2018年度における確定額は、営業費用73,977百万円(地帯間購入電源費11,813百万円、他社購入電源費14,082百万円、社内取引費用48,081百万円)及び営業収益69,376百万円(地帯間販売電源料12,506百万円、他社販売電源料3,969百万円、託送収益9,991百万円、社内取引収益42,908百万円)である。また、インバランスの供給に係る電力量の確定値は4,304百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は5,060百万kWhである。
- 3 インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バラシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。
- 4 2018年10月より連系統利用ルールが間接オークションに変更された。これに伴って発生した取引については、他社購入電源費3,968百万円と他社販売電源料3,969百万円で計上している。
- 5 重要な後発事象
金融商品取引法に基づく当社の第95期事業年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の財務諸表の注記事項に、「重要な後発事象(会社分割による一般送配電事業の分社化)」が記載されている。